



平成28年1月28日発行
TEL.042-585-1111(代)
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1

日野市教育広報
第107号

発行 日野市教育委員会(編集 教育部学校課)

教育目標

ひのこ 世界へ
のびようとも
くろう夢を
こえよう自分を

紙面から

- 西田教育委員長年頭所感、プレゼンテーション大会・1
- ブリティッシュ、ひのつ子ががんばってます……2
- 特別支援教室、算数プロジェクト、中学生東京駅伝大会・3
- 親子で楽しむ豆腐作り、郷土資料館の自然収蔵展示室・4

年頭所感
みんなちがって、みんないい



日野市教育委員会委員長
西田 敦子

新しい年を迎えると、何か新しいことができるような力が湧いてきます。新たなことに挑戦もしたくなります。家族や家庭のことを振り返り、そのやさしさに気付くこともあります。教員をしていた時のことです。「年の始めなので、今日は思い切りわが子の自慢話をしましょう」と1月の保護者会は、わが子の自慢タイムにしたことがあります。保護者は率直にわが子を語り、笑いあり、共感ありの、とても楽しい時間になりました。わが子を語る時、家族や家庭を抜きにしては語れません。普段あまり話すことのないご家庭の様子も語られて、保護者同士の親しさも増したようです。

子供の頃、友だちの家によく遊びに行きました。玄関にも廊下にも本があふれていた家があれば、たくさん兄弟が部屋で相撲をとっている家もありました。日曜学校に出かける家もあり、おじいさんがお好み焼きを作ってくださる家もありました。どの家にも、自分の家とはまた違う暮らしや空気があって、それがとても新鮮な驚きでした。わが家にも友だちがいつも来てくれていました。今も、それぞれの家庭が、

それぞれの暮らし方や楽しみをもっています。初詣や節分など季節の行事を大切にしたり、スポーツや音楽を楽しんだり、生き物を育てたりボランティアをしたりなど、家庭それぞれです。それは、家族で作ってきた尊い家庭の文化といえましょう。子供たちは、その家庭の文化の中で、豊かな個性が育まれ、人としての基本的なことを学んでいます。

詩人の金子みすゞは「私と小鳥と鈴と」の中で、次の様にうたいました。

鈴と、小鳥と、
それから私、
みんなちがって、
みんないい。

「みんなちがって、みんないい。」この一節は、私たちの気持ちをほっとさせてくれます。子供はみんなちがって、みんないい。家庭もみんなちがって、みんないい。家族で作ってきたそれぞれの家庭の文化に誇りをもって、時には自慢し合おうではありませんか。



第7回
児童・生徒による
プレゼンテーション大会を
開催しました



1月16日(土)、子供たちのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成することをねらいとして、第7回児童・生徒によるプレゼンテーション大会を開催しました。

ひの煉瓦ホール(日野市民会館大ホール)を会場に、小・中学校合わせて21校の代表の子供たちと、「被災地に学ぶ生きる力プロジェクト」に参加した中学生が発表しました。

各校ともICTを効果的に活用するとともに、聞き手を意識した発表方法を工夫するなど、自分たちの取組や学習したことを分かりやすく伝えてくれました。

『被災地に学ぶ生きる力プロジェクト』

宮城県気仙沼市を訪れ、被災地見学や気仙沼中学校との交流をとおして、感じたことや私たちにできることを考えて発表しました。

◆日野第一小学校

『シルバー交流プロジェクト』
高齢者との交流を通して相手の立場を理解し行動できるようになりました。

◆大坂上中学校

『職場体験学習』

映画館、コーヒーストップでの職場体験を基に、感じたことや考えたことを発表しました。

◆日野第五小学校

『住みよい町ってどんな町』

『共に生きる』
障害のある方との関わりの中で、自分たちができることを考え、相手を尊重し、共に生きることの大切さを発表しました。

◆日野第八小学校

『クラブ活動で学んだこと』

教科の学習で学んだことから興味や広がり、「ハムスターの飼いや」「水の中の微生物」「わたしたちの考える未来の日野市」について発表しました。

◆東光寺小学校

『平和学習を通して学んだこと』
社会科で学んだことを基に平和についてさらに調べ、自分ができることを発表しました。

◆夢が丘小学校

『私たちの学校「夢が丘小学校」』
夢小の魅力を再発見し、放送委員会の日常の活動である「夢小ニュース」を再現しました。

◆南平小学校

『すずかけ米大作戦』

校内の水田で栽培した「すずかけ米」の栽培活動の様子や地域の農家の方との交流について発表しました。

◆日野第七小学校

『自然災害とその対応方法について』

雷、津波、地震の被害予想と避難の仕方について詳しく調べたことを発表しました。

◆日野第二中学校

『お弁当の日』

「お弁当の日」の取組や、お弁当を自分の手で創ることで、学んだこと、考えたことを発表しました。

◆仲田小学校

『水田学習プロジェクト』

自分たちが見て聞いて、肌で感じた「稲作体験」や「米の料理体験」「米の食べ比べ体験」について発表しました。

◆日野第三小学校

『日野大好きプロジェクト』

自分たちの暮らす環境を守るため「カイコのひみつ」「ふるさとの環境を守ろう」について調べました。

◆豊田小学校

『発見！地域の宝』

地域を歩き感じた豊田駅・若

宮神社・豊田駅南商店街の魅力について発表しました。

◆七生緑小学校

『共に生きる』

国語の学習「さわっておどろく」をきっかけに、アイマスク体験や駅にあるユニバーサルデザインを発見し、目の不自由な方や障害のある方との共存を考え、自分たちで何ができるか考えました。

◆滝合小学校

『芝生再生プロジェクト』

都内でも有数の広さを誇る芝生の校庭。芝生の維持管理、自然環境のこと、地域とのつながり等多くのことを学びました。

◆日野第六小学校

『郷土の歴史と開発』

創立50周年の今年度、フィールドワークから自ら課題を見付け、「歴史を大切にし、私たちが新たな歴史をつくっていく」決意を発表しました。

◆平山小学校

『未来のまちはほくらがつくる!!』

「生きぬく科」で学んでいることの紹介。災害に負けない強いまちにするための「まちづくりプロジェクト」の途中経過を発表しました。

◆日野第四小学校

『自動車会社をつくる』

社会科で学習したことを生かし、自分たちで考えた人や環境にやさしい車について発表しました。

◆日野第一小学校

『シルバー交流プロジェクト』

高齢者との交流を通して相手の立場を理解し行動できるようになりました。

◆大坂上中学校

『職場体験学習』

映画館、コーヒーストップでの職場体験を基に、感じたことや考えたことを発表しました。

◆日野第五小学校

『住みよい町ってどんな町』

『共に生きる』
障害のある方との関わりの中で、自分たちができることを考え、相手を尊重し、共に生きることの大切さを発表しました。

◆日野第八小学校

『発見！地域の宝』

地域を歩き感じた豊田駅・若



全小学校の通学路に防犯カメラの設置を進めていきます。

した。

◆潤徳小学校

『5年生で学んだことから』

「オーストラリアについて」「外国の国旗」「世界の国旗」「八ヶ岳について」、調べたことについて発表しました。

◆旭が丘小学校

『健康について考えよう』

健康をテーマに、体力テストの結果から自分の課題を発見し、解決方法を探し、健康に生活するために考えたことを発表しました。

◆日野第四中学校

『いじめ』

いじめについて自分が救われたこと、知ってほしいことについて発表しました。

◆七生中学校

『東京フィールドワーク』

東京フィールドワークを実施し班別行動で発見した東京の魅力を発表しました。

自分たちで決めたテーマについて、大きな舞台で大勢の人たちに向けて発表できたことで、子供たちは達成感を味わい、自信をつけたことと思います。伝える力を高めることに加え、様々な発表から学び合う貴重な体験にもなりました。参加していただいた学校、保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。(学校課)

通学路の防犯対策として、新たに全小学校の通学路に防犯カメラを設置する事業をスタートしました。通学路の防犯対策については主に保護者や地域の方の見守りを中心に行ってきましたが、これらを補完する形で防犯カメラの設置を行っていきます。

今年度は、モデル事業として日野第八小学校と夢が丘小学校の通学路に各校5台ずつ防犯カメラを設置しました。東京都の補助事業を活用し、平成30年度までに全ての小学校の通学路に防犯カメラの設置を進めていきます。

ひのっ子世界へ…
世界へ向けたくましく羽ばたく「ひのっ子」
中学生国内留学体験を終えて

12月26日、東北新幹線とバスを乗り継ぎ、市内中学校の生徒20名が、福島県岩瀬郡天栄村にある「ブリティッシュヒルズ」を訪れ、2泊3日の国内留学体験を行いました。「ブリティッシュヒルズ」は、疑似体験型の国際研修施設です。スタッフは、外国人講師をはじめとして、日本人もみな英語で会話をします。中世の英国の建物に囲まれた町並みの中で、異文化体験をしながら、参加した生徒たちは、英語によるコミュニケーションを行う機会をたくさん得ることができました。

この国内留学体験は、日野市教育委員会と東京日野ロータリークラブとの共催で実施している事業で、今年度で13回目を迎えました。日野市教育委員会の教育目標の一つ「ひのっ子世界へ」には、ふるさと日野を愛するとともに、視野を世界へ向けて大きく羽ばたいてほしいという願いが込められています。

様々なことを柔軟に受け止めて吸収できる時期にある中学生にとって、この国内留学体験は、自分の未来を切りひらく力を身に付けるための有意義な学習となることが期待されています。

英語によるコミュニケーションやスピーチを通して豊かな表現力を高めるとともに、異文化体験を通して広い視野で物事を考える国際感覚を養うことを目的としています。また、日野市の中学生の代表として、自ら考え、行動することで、世界を舞台に活躍しようとする気持ちや、リーダーシップを育てる機会にもなると考えられています。



3日間の研修プログラムは、バスポートを持つて英語での入国審査を受けることから始まりました。その後、ゲーム形式、ロールプレイ形式、お菓子の調理やテーブルマナーなど、様々なレッスンを受講しました。どのレッスンにおいても、しっかりと聞くことと自分の意思を英語で伝えることを学びました。はじめは緊張していた生徒も、自分の伝えたいことを言葉にして話すことで、外国人講師に伝わることで実感できると、次第に自分から英語による会話を楽しむ姿が見られるようになりました。

また、外国人スタッフの皆さんの温かな励ましにより、間違いを恐れずに英語で話すことに慣れていきました。

この3日間で生徒たちは、英語によるコミュニケーションの楽しさを知り、もつと英語で話せるようになりたい、外国の文化や習慣を実際に確かめたいという思いを強くしたと思います。そして、一緒に参加した仲間や、「ブリティッシュヒルズ」の人々との交流は、かけがえのない体験となったはずで、この中学生国内留学体験の実施に向けて、ご尽力いただきま

した東京日野ロータリークラブ、日野市立中学校の先生方をはじめ、多くの皆様のご支援に心より感謝申し上げます。



ひのっ子
がんばってます
(学校課)

日野第一小学校

「互いに刺激し合って頑張っています。」

○炎天寺一茶まつり全国小中学生俳句大会 入選

俳人小林一茶をたたえて催されている俳句大会に挑戦しました。応募の結果、5年生 中井美里さんが入選となり、入賞しました。「夏休み ひこぎのつて 鳥取へ」という句です。

○日野市民テニス大会中学女子の部で優勝

5年生 熊倉綾胡さんは大好きなテニスを3年生から続けています。今回は小学生のエントリーが少なく小学生の部がなくなり、中学女子の部に挑戦しました。「体格の差に驚きました。特にサーブに苦しんだけど、ねばることができてうれしかったです。」



○日野市民大会ロードレースに5年・6年生全児童参加

本校では体力向上を目指し、毎年5・6年生全児童で市民陸上大会とロードレースに参加しています。朝練や自主練習にも取り組んできました。

「今年は、ワイナイナさんと走ることができてとても感動しました。」と子供たちは、最後まで走り切った達成感とともに最高の笑顔でした。



日野第八小学校

「よみうり・国営昭和記念公園ちびっ子マラソン大会」で優勝

12月6日(日)に国営昭和記念公園で開催された「第30回よみうり・国営昭和記念公園ちびっ子マラソン大会」に、6年生の大庭晴君が6年男子の部に出場し3kmのコースを走り、見事第1位(優勝)に輝きました。

大庭君は5年生の時にこの大会に出場し、優勝していました。2年連続の栄冠でした。

市長との「ふれあいトーク」

11月18日(水)に大坪冬彦市長が来校し、6年生と交流しました。体育館で校歌を歌いながらお迎えし、その後、「私たちの考える日野の未来」と題したグループごとのポスター展示や、パワーポイントの発表を市長に見ていただきました。「日野市を全国にPRするには?」「ゆるキャラを作ろう」「自然を活かしたキャンプ場をつくらう」「水族館は?」など柔軟で斬新な発想に市長も感心され、子供たちが作成したポスターを持ち帰り、市役所に掲示してくださいました。体育館での活動の後には子供たちと一緒に給食を食べ、食後はいろいろな質問に答えてくださいました。今回の機会は子供たちに

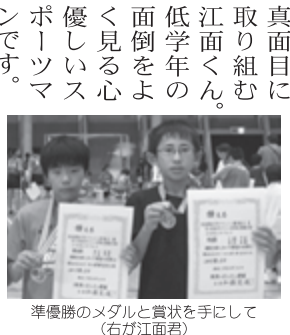
とって、日野市をよりよくするために自分たちに何ができるかを考える貴重な学習の場になりました。



滝合小学校

関東小学生バドミントン大会準優勝
江面孝紀君(6年)は、現在、

バドミントン連盟のジュニア強化選手に選ばれ、東京代表として全国大会に出場しています。月末は合宿に出かけ、他県の有力な選手とともに力を競い合い技を磨いています。



準優勝のメダルと賞状を手にして(右が江面君)

真面目に取り組み江面くん。低学年の面倒をよく見る心優しいスポーツマンです。

読売新聞「KODOMO俳句」コーナーに掲載

夏季講座「俳句をつくらう」に参加した、小池七彩さん(6年)と阿部和花さん(3年)の作品が読売新聞に掲載されました。

自然に目を向け、日常生活の中から、自分だけの発見を俳句にしました。

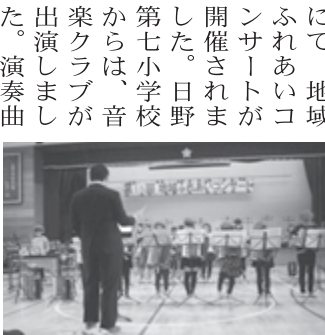
風鈴の涼しい音に耳をかす
小池七彩
あつい夏ちようも水のみ川にきた
阿部和花
その光景が目につかぶ、素敵な俳句ができました。



日野第七小学校

ふれあいコンサート

12月13日(日)に大坂上中学校にて、地域ふれあいコンサートが開催されました。日野第七小学校からは、音楽クラブが出演しました。演奏曲



は、「ラバツキー行進曲」にじいさん「Dragon Night」Sing Sing」です。少ないクラブ回数の中で精一杯練習を積み重ね、当日は、大きな拍手の中で演奏を終えることができました。

日野第一中学校

第46回ジュニアオリンピック陸上競技大会

女子100m第5位 記録12秒35(山内さくら)

日野市緑と清流ボスター 最優秀賞受賞(山崎ありさ) 優秀賞受賞(辻乃々葉)

第7ブロック夏季剣道大会 個人戦ベスト16に入り都大会出場(伊藤優希)

第7ブロック日南地区ソフトテニス新人大会 団体戦準優勝し都大会出場(ソフトテニス部)

平成27年度73地区バスケットボール新人大会 男子 優勝 都大会出場 女子 第三位

第55回東京都中学校吹奏楽コンクール B組銀賞受賞(吹奏楽部)

第21回日本管楽合奏コンテスト 優秀賞(吹奏楽部)

第82回NHK全国学校音楽コンクール 東京都コンクール予選銀賞受賞(合唱部)

みんなの遊・友ランド スタッフとして参加(女子バレーボール部)

日野間税会主催「税の標語」優秀賞(廣田智也)

佳作(木村結菜)

佳作(野口夏那)

南多摩納稅貯蓄組合連合会中学生の「税についての作文」

南多摩納稅貯蓄組合連合会会長賞(奥住あゆみ)

秀賞(金田里香)

平成27年度薬物乱用防止標語会長賞(虹富 晴水)

会長賞(日高 美咲)

平成27年度中学生入権作文コン

テスト
多摩西人権擁護委員協議会長賞(白鳥翔子)

工房・紙ふうせんイザ!カエルキャラバン(防災訓練)&ミニバザー

スタッフとして参加(ボランティア部)

赤い羽根共同募金 歳末助け合い募金 ボランティア部

日野第四中学校

11月28日(土)「ふれあい林業(間伐)体験」がオヤジの会主催のもと、高尾グリーンセンターで行われました。天候にも恵まれ、自然との付き合い方を体験しました。



12月5日(土)に旭が丘中央公園で行われた「たきび祭」に吹奏楽部が出演し、四中吹奏楽部の演奏に合わせ、たきび全員合唱を行いました。また、模擬店、催し物、遊び場では16名の中学生がボランティアとして参加しました。



演劇部: 第66回東京都中学校連合演劇発表会出場

算数大好きプロジェクト
帝京大学 廣田 敬一先生による
『小学生土曜算数教室』

小学校6年生が論理的に考える力を高める算数の問題に挑戦しました。



会場の日野市役所に集まった小学生

教育委員会は、ポランティアスタッフの教員による算数研究会と共催で、市内小学校6年生を対象に帝京大学客員教授 廣田敬一先生による土曜算数教室を開催しました。この土曜算数教室は、子供たちが算数の問題をじっくりと考えて解決する喜びを味わい、論理的に考える力を高めてほしいと願い、平成23年度から始まり、今年度で5年目を迎えました。今年度は、市内から100名の小学生が参加を希望し、抽選で選ばれた73名が4月から12月までの10回にわたって、簡単には答えが導き出せない問題に挑戦しました。子供たちが挑戦した問題は、「15段目の秘密」「ハノイの塔」「角の大きさのきまり」などです。

試行錯誤しながらじっくりと考えたり、友達のを聞いていたりしながら解決方法を発見することで、算数を学ぶ楽しさを体験することができました。12月12日(土)には、今年度の最後の算数教室と閉講式を迎え、受講した6年生を代表して4名が感想を発表しました。

第4回の「ハノイの塔」の時に5枚の紙で作るハノイの塔をやさしい問題にするため、2枚から3枚と、1枚ずつ、やさしい問題から難しい問題へとやっていきました。すると、5枚で最初からやったときはできなかったけど、やさしい問題から難しい問題へとやると、なんとできました。

私は、この問題をやって、やさしい問題からやると、とても良いのだなと思いました。先生方から教わったことを、これらの算数に生かして頑張ってください。

(東光寺小 奥山 心晴さん) 第8回の市松模様では驚くことがたくさんありました。私は洋服が好きなので、服の模様が

平成27年度日野市立教育センター活動報告・調査研究事業の発表会を実施します。

教育センターでは、日野市の教育課題に対応する研究や研修、教員の指導力向上のための研修、若手教員の授業観察・指導・助言、適応指導教室等を行っております。

本年度は、理科教育や郷土教育の調査研究事業の発表、教員研修やわかば教室(適応指導教室)、登校支援状況等についての報告を実施いたします。

教育関係者のみなさま、ぜひ、ご参加を

【日時】平成28年2月22日(月)午後2時15分～4時45分

【会場】教育センター講堂(3階)

【活動報告・発表内容】

○平成27年度教員研修について(報告)

○平成27年度わかば教室について(報告)

○平成27年度適応指導状況について(報告)

○平成27年度理科教育推進研究について(発表)

○平成27年度郷土教育推進研究について(発表)

【問合せ】教育センター(電話592-0505)

(教育センター)



指導をされている廣田 敬一先生

(学校課)

小学校の「情緒障害等通級指導学級」が「特別支援教室」に変わります

平成28年度には、八小、潤徳小、七生緑小に特別支援教室を導入し、指導を開始します。

小学校の通常の学級に在籍し、発達障害等(※)により生活や学習上の困難を抱えている児童の一部は、現在、在籍学級における授業の一部を抜けて、他校に設置された「情緒障害等通級指導学級」で特別な指導を受けています。

東京都教育委員会は、発達障害等のある児童は全ての小学校に在籍していると推測されることから、より多くの児童が指導を受けられるように、都内全ての小学校に「特別支援教室」を設置し、専任の教員が巡回して指導を行うように変更する方針を示しました。

日野市教育委員会では、この「特別支援教室」を平成28年度から平成30年度の間に全ての小学校に順次導入する予定であり、平成28年度には、日野第八小学校、潤徳小学校、七生緑小学校の3校に特別支援教室を導入し、指導を開始します。

「特別支援教室」導入により期待される効果

※高機能自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害、学習障害等

●これまでの通級指導学級による指導を全ての小学校で実施することで、保護者の送迎の負担が解消され、より多くの児童が支援を受けられるようになります。

●児童の実態に応じた在籍校での個別指導や小集団指導を通して、児童の学力や在籍学級における集団適応能力の伸長が期待されます。

●在籍学級担任と巡回指導教員との連携が緊密になり、指導内容の充実が図られます。

●教職員や保護者が指導の内容を知る機会が増え、発達障害や特別支援教育への理解が深まります。

「特別支援教室」説明会を開催

【日時】①1月27日(水)午後7時～8時、②2月6日(土)午前10時～11時

【会場】日野市役所5階505会議室

【内容】「情緒障害等通級指導学級」から変わる「特別支援教室」について

※各回の説明会の内容は同じです。また、既に開催した平成28年度導入校及び通級指導学級での説明会と内容は変わりません。申込不要。

【問合せ先】教育支援課(エール)(発達・教育支援センター)内:電話589-8877

☆「特別支援教室」で指導を受けるには、手続きが必要です。詳しくは、各学校及び教育支援課までご相談ください。

(教育支援課)

特別支援教育

『就学・進学支援シート』の活用を

○就学・進学支援シートは、平成28年度に小学校や中学校に就学・進学する特別な支援が必要なお子さんを対象にしています。対象になるお子さんの発達面、人とかかわり方の特性、園や学校で進めてきた指導内容等について、「就学支援シート」・「進学支援シート」を用いて、小学校や中学校に引き継ぎをするものです。

○引き続きだ小学校や中学校では、支援シートに書かれた内容を基に面接や指導計画の作成等を行い、新年度に向けてお子さんにとってより適切な

学校生活の環境を整えるよう配慮いたします。

○支援シートは、保護者と幼稚園・保育園等、小学校が相談を行いながら作成していきます。

○支援シートの作成をご希望される保護者は、在籍している幼稚園・保育園等、小学校へご相談ください。

○支援シートに関する相談・問い合わせは「教育支援課」(エール)(発達・教育支援センター)内:電話589-8877までご連絡ください。

(教育支援課)

第7回中学生「東京駅伝」大会
代表選手決定

2月7日(日)第7回中学生「東京駅伝」大会が調布市にある味の素スタジアムにて開催されます。日野市の中学校2年生の代表選手が、男子17区、女子16区を、日野市の襷を受け継いで走ります。

代表選手は、市民体育大会ロードレース競技でのタイム順で選考されました。補員も含めて、男子21名、女子21名、総勢42名で、大会上位を目指します。

12月12日、オリエンテーションと、第1回合同練習を市民陸上競技場で行いました。1月9日には、第3回合同練習の後に結団式を行い、チーム日野の団結を強めました。

ひのっ子の代表としての誇りと自覚をもって一人一人が自分のもてる力を発揮して、力強く走ります。皆様の応援をどうぞよろしく願います。

(学校課)



おいしい「豆腐」ができました！
公民館講座
『親子で楽しむ
豆腐作り』

日野市中央公民館では郷土資料館との共催で「親子で楽しむ豆腐作り」(全3回)を開催しました。昨年末、親子一緒に畑で大豆の収穫、大豆の脱穀を行い、今年1月に豆腐作りに挑戦しました。形は少し変ですが、真っ白な豆腐が出来上がりました。自分たちで畑から収穫した大豆からこんなおいしいそうな豆腐ができるなんて、みんな感激です。来年はもっとうまく作れるかな。参加した子どもたちは幼児から小学校高学年までです。みんな頑張りました。



(中央公民館)

郷土資料館の自然収蔵展示室

郷土資料館の自然の収蔵展示は、昨年に旧教室を改装し、棚も増やして収蔵量も増やし、ゆったりと見学できる部屋に変えました。ここでは、日野の自然を、実物・模型・写真などの資料を用いて紹介しています。見学に訪れた小学校の児童の質問を元に展示資料を紹介します。

「このタヌキは本物？」

タヌキ、キツネ、アナグマ、ハクビシンのほく製です。毛皮は本物ですよ。

「鳥は？」

日野市の鳥カワセミです。魚とりの名人です。はく製と彫刻して本物そっくりの色を塗ったバードカービングがあります。カルガモ、キジ、トラツグミのほく製のほか、スズメ、シジュウカラ、オナガなど身近な野鳥をバードカービングで紹介しています。



タヌキのはく製

(郷土資料館)

中央公民館
ひのっ子シェフコンテストが
開催されました

今年もたくさんの応募があり、書類審査で選ばれた6グループが11月22日(日)日野第一中学校を会場としたひのっ子シェフコンテストの本選に進みました。

審査員には鈴木審査委員長(服部栄養専門学校教授)、大坪市長、高木教育委員、白尾実行委員長(実践女子大学教授)のほか、惜しくも本選出場を逃した子どもたちの中から「子ども審査員」として3名参加していただきました。どれも工夫を凝らした美味しい作品に仕上がりました。

今年あらたに栄養士と給食調理員による特別賞が新設されました。特別賞のメニューは、市内小学校の学校給食として全校で提供される予定です。今後の学校給食が楽しみですね。



秋のバリバリどんぐりコロッケ



秋のホクホク春巻
〜りんごソースぞえ〜

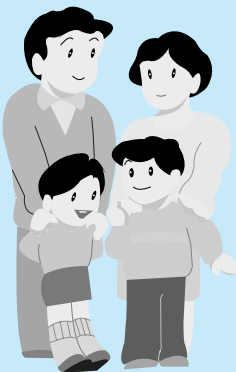


(中央公民館)

第9回ひのっ子シェフコンテスト 最終結果一覧

	献立名	学校名	学年	氏 名		
最優秀賞	秋のバリバリどんぐりコロッケ	潤徳小	6年生	三浦愛璃	桑原未空	古畑 葵
優秀賞	秋のホクホク春巻〜りんごソースぞえ〜	六小	6年生	蝶野結衣	金子温乃	
敢闘賞	秋野菜のカレーグラタン	六小	5年生	濱村奎斗	杉山 凛	
特別賞	ひのっ子そばろどん	南平小	4年生	池田怜央		
努力賞	キャロットパンプキン	六小	5年生	細貝早希	近江優衣	
努力賞	こまつなマヨポテトグラタン	七生緑小	4年生	宮本彩矢		

「話せばわかる」とは
限らないが、
話さなければ
もつとわからない。」



夫婦の間、親子の間での会話を増やしていくことが、家庭づくりのすべての基礎になります。ほんとうは夫婦でも親子でも何でも話せる仲間でありたいものです。日々の会話を増やすには、できるだけ一緒に食事をして、お互いにその日にあったことを話すと、一緒に家事をしたりスポーツをしたり、また地域のボランティア活動に参加

加したりする、などの工夫をすることが大切です。また、思春期になると、男女とも身体が急速に成長し始めます。不安やとまどいなどがないよう、身体の変化について話してあげることが大切です。

出典 文部科学省発行「家庭教育手帳」

(生涯学習課)

日野雛子保存会が熱演

多摩川流域郷土芸能フェスティバル

12月6日、狛江市の狛江エコルマホールに多摩川流域9自治体の郷土芸能団体が集まり、第16回多摩川流域郷土芸能フェスティバルが開催されました。

日野市の参加は昨年に続き2回目。日野市祭ばやし連合会を代表して日野雛子保存会が20分にわたり、はやしを披露しました。今年も小学生だけで演奏する子どもはやしにも挑戦しました。

現代風にアレンジしたテンポ良い動きに加え、ひよっこやおかめ、狐や獅子が客席で観客と握手するなど会場全体を巻き込んだパフォーマンスに会場は深い感動に包まれました。



(生涯学習課)

パフォーマンス
キッズ・トリキョー
発表公演観覧募集！

「ね、むむ。わ、つなぐ。」
〜キッズつむぎねパフォーマンス〜



子供たちが作曲家の宮内康乃さんと一緒に創作した舞台作品を発表します。

【日時】 3月21日(月・祝) 午後2時30分 開演

【会場】 ひの煉瓦ホール(日野市民会館) 小ホール

【定員】 150名(予定)(先着順)

【入場料】 無料※要申込み

【申込方法】 ホームページ予約専用フォームから申込み。あるいはファックスにて以下を記入し申込み。件名「ひの観覧希望」・代表者氏名(ふりがな)・人数(子供・大人の別)・代表者電話番号・ファックス番号。

※申込後1週間以内に申込み受付確認の連絡あり。

【主催】 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、日野市市民会館文化事業協会、日野市

【後援】 日野市教育委員会

【助成・協力】 東京都

【お申込み・お問い合わせ】 特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち(電話03-5961-5737、FAX03-5961-5738、ホームページ http://www.children-artnet/pkt/pkt_invite/) または文化スポーツ課(問い合わせのみ)

(文化スポーツ課)

『第5回日野市ロープジャンプ小学生大会』が開催されます



「第5回日野市ロープジャンプ小学生大会」が市内公立小学校参加のもと開催されます。今回は50チーム児童数約1400人による熱戦が繰り広げられます。たくさんのご声援よろしくお願いします。

【日時】 2月27日(土) 午前8時〜午後12時30分

【会場】 日野市市民の森ふれあいホール

【来場者の皆様へ】

●大会専用駐車場を利用するには駐車券が必要になります。駐車券をお持ちでない方は、駐車できませんのでご了承下さい。

※駐車券は各学校へ指定枚数配布しております。

●応援・観戦等で来場される場合は、公共交通機関をご利用願います。

●送迎については、市民の森ふれあいホール駐車場内に『送迎乗降場』を設けております。交通警備員の指示に従って下さい。また、乗り合いでの送迎にご協力下さい。

【問合せ先】 文化スポーツ課



(文化スポーツ課)